

はまつくらしの情報



障がい者のネット通販 ～周りの人も見守って～

2024. 7

編集・発行

浜松市くらしのセンター

〒432-8032

浜松市中央区海老塚町51-1

【電話相談】

市民相談 457-2025

交通事故相談 457-2233

消費生活相談 457-2205

全国のインターネット通販トラブル相談件数のうち、約2.6% (2021年度) が障がいがある方の相談となっています。表示を隅々まで確認することなど、家族や周りの人はインターネット通販を利用する際の注意点を本人としっかり話し合っておきましょう。

今月号では、障がい者のネット通販トラブル事例とアドバイスを紹介します。



◆ 事例 ネットで脱毛クリームを購入したが・・・

グループホームの入居者が、ネットで初回 980 円の脱毛クリームを購入した。昨日 2 回目が届き、定期購入だと分かり職員の私に相談があった。入居者本人から事業者に連絡したところ、5 回分を受け取って代金を支払わないと解約できないと言われたそう。すぐに解約できないか。
(当事者、20 歳代)

定期購入
5 回購入
が条件



すぐに解約
したい

◆ ひとことアドバイス

○家族や周りの人が問題に気づくことが、消費者トラブルを防いだり、早期解決したりするために大切です。日頃から本人とコミュニケーションを取り、いつもと違った様子はないか、不審な商品や請求書はないかなど、気を配りましょう。

○繰り返し同様のトラブルに遭うこともあるため、継続して見守ることが必要です。

○困った時、不安に思った時、トラブルにあった時は、浜松市くらしのセンター等に相談しましょう。本人だけで相談することが難しい場合は、家族や周りの人が付き添いましょう。

(浜松市くらしのセンター：457-2205、消費者ホットライン 188)

【参考・引用】見守り新鮮情報 第 407 号 (2021 年 11 月 2 日公表) 発行：独立行政法人国民生活センター



くらしのセンターご案内

こちらへ



消費者ホットラインご案内

こちらへ



エシカルコラム Vol.91 地産地消



「地産地消」は文字通り、地域で生産した農林水産物等を同じ地域内で消費することです。既に多くの皆さんに浸透した言葉で、エシカル消費の一つとしても大切な消費行動です。

今月号では、地産地消についてメリットや課題を紹介します。

地産地消って何だろう？

◎どのようなことが地産地消になるの？

地産地消は食品に係るものから始まりましたが、現在では衣食住など日常生活全般に及んでいます。「衣」では地元企業が作った衣服を購入することや衣類の譲り合い、リサイクルなど、「食」では地元産食品の消費、自分で食材を育てるなど、「住」では地元産木材や土の使用、古民家・空き家の活用などが挙げられます。この他にも、再生可能エネルギーの使用、地元イベントへの参加、旅行先でその地域の食や文化を体験することも含まれます。地産地消は誰もがができる、身近な取り組みです。



◎地産地消のメリット

- 新鮮な食品を安く入手できる。
- 地域内での人・物の交流が盛んになることにより、地域社会や地域経済の活性化に貢献できる。
- 生産物の移動距離が短いことで、省エネルギー・二酸化炭素削減につながり、環境負荷の軽減に貢献できる。
- 地域の伝統文化を見直すことにより、文化の継承、活性化に貢献できる。



◎地産地消を継続するための課題

- 品質と生産量を安定して消費者に供給しなければならない。→生産物の安定性
- 事業として成り立つ運営体制を構築し、維持していくことが必要。→運営体制の安定性
- 事業を継続していくため、担い手を育成していくことが必要。→人材の育成

◎地産地消とSDGs

地産地消はSDGsの目標のうち「目標8 働きがいも経済成長も」「目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう」「目標11 住み続けられるまちづくりを」「目標12 つくる責任つかう責任」「目標14 海の豊かさを守ろう」「目標15 陸の豊かさを守ろう」などと関係しています。



主要生活物資価格調査結果は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」
をご覧ください(<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html>)



消費者庁イラスト集より